

臼井 公民館 成人教育 事業評価		平成26年度
館の運営方針	常に地域の実情や市民生活の変化に即した学習要求や生活課題を的確に捉えながら、新しいまちづくりをめざした事業を進める。 これと共に、市民が自主的に「集い」「学び」そして「伝えていく」活動を助成することで、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設としての役割を果たすことに務める。	
ジャンルの目標		
地域の自然や歴史を住民に再認識してもらえるような事業を展開し、地域に関する理解と愛着を深めるとともに、地域住民の交流と健康増進を図るような事業を行う。		

★個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	地域づくり入門講座「ヨガ講座」 パワーヨガ教室	幅広い年代層への健康増進と運動にかかわる機会を提供し、運動への関心を高め、日常生活の中で積極的に運動を取り入れることを推進する。
②	佐倉学専門講座「印旛沼」 臼井八景と北印旛沼の句碑を巡る	印旛沼の臼井八景と北印旛沼の句碑を見学し学ぶ。
③	佐倉学入門講座 「中世の佐倉・臼井城とその時代」	地域の歴史を講義と現地散策で学ぶ。
④	佐倉学体験講座 ちょっといいとこ見て歩き 「印旛沼の治水・花見川掘割」	印旛沼開発史の中で、江戸時代に行われた掘削工事について、その現場となった史跡を見学し、沼の歴史の一端を学ぶ機会とする。
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		

★ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般			
企画	企画段階での課題と解決策	A	A:各個別事業の想定課題は正しかった。 C:個別事業の想定課題が違っていたところがある。 B:各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 i:途中で変更した。 ii:そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	B	A:各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 C:各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 B:各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 i:別の方向に進めた。 ii:そのまま進めた。
点検	点検しての課題と展望策	今後も、地域の自然や歴史を住民に学習してもらうための機会として講座を開催する。また、地域住民の交流と健康増進を図るための機会となるような講座を開催する。	
改善	次年度への課題と展望策	B	A:事業拡大。 D:目的達成により終了。 B:現状規模での継続。 E:統合・改善・その他 C:事業縮小。 ()

総合評価		成 果
B	事業規模 A:適切で成果が得られている。 B:課題あり、成果が得られている。 C:課題あり、成果があまりない。 D:成果が得られていない。 E:現段階では判断できない。	ジャンルの目標に沿った事業を概ね進めることができた。アンケート等からは、事業を実施することにより、地域の歴史、自然に対する意識が高まった。
		課 題 今後も、地域の特性を活かした事業を展開し、幅広い世代の参加を図っていくとともに、今まで公民館を利用していない層が参加するような事業について検討していく必要がある。

★公民館運営審議委員意見

委員①	佐倉の自然、歴史、文化、ゆかりの人物についての学習や、印旛沼の文学散歩を通して、参加者の郷土についての理解が深まったと思います。講師の確保など御苦労があるかと思いますが継続されること望みます。	
総合評価	A	

委員②		事前事後の学習があっても良いのでは。 予算的なものがあるが、回数が増やせたらさらによい。
総合評価	A	

委員③		昨年度の講座と関連させたりしている点は素晴らしい。
総合評価	A	

委員④		印旛沼の文学的な側面に興味をもて地元の素晴らしい事を、知る企画だと思いました。 機会があったら、参加したいと思いました。
総合評価	A	

委員⑤		他の公民館でも、「佐倉学」をテーマにした講座は開催されますが、印旛沼を中心にして、現地に行って学ぶことができ、理解しやすいことや、臼井八景と北印旛沼の句碑を実際に見ながら、印旛沼の魅力を感じることができるすばらしい講座だと思いました。 資料もわかりやすい資料です。 実施するまでの苦労がわかりますが、その成果を今後も生かして継続してください。
総合評価	A	

委員⑥		佐倉学専門講座「印旛沼」臼井八景と北印旛沼の句碑を巡る 漢詩や和歌など、全く味わう力のない私には、この事業の評価は殆ど出来ない、最初から両手を挙げるしかないのだが、あまり親しみのない、親しみの薄い文学という切り口から地域を見るというのはとても面白い。 地域を知る、という学習の大半は「歴史」になってしまうが、それだけでは味がないし、誰もが歴史に興味を抱く訳でもない。地域の眠っている素材を最大限に活用した連続講座づくりへの取り組みが、継続的に行われていることを何よりも評価したい。 表題のとおり専門性の高い内容を持ちながら、楽しんで学ぶことができるツアーを組むには、相当の準備、努力が必要だったと思われる。事業とはみなそんなものだ、ということだろうが、とにかく教室を出て学ぶということは結構大変なこと。 臼井地区は印旛沼との戦いの歴史でもある訳だが、それを知る人はもはや少数だし、駅が移転されたことさえ知る人も少なくなっていく。宿場まちの面影も、見た目には殆ど残されていない。漁業が盛んだったなんで…過去を知ってどうする、ということもあるのだろうが、このまちに生きてきた人たちの足跡を見て、足音を聞いて見たいと思う。面白ければ…。いろいろなマジカル・ミステリー・ツアーを提案して頂きたい。大変だとは思いますが…。コミュニティカレッジで佐倉学はどう展開されていくのだろうか、成人教育はどんな幅を持つのだろうか…興味津々である。 一貫したねらいを持った事業展開がされていることに着目して、事業評価Aとする。
総合評価	A	

委員⑦		昨年の講座実施後の参加者の意見が活かされ、今年度の見学会はより充実感があつたと思います。 佐倉の象徴である印旛沼は形こそ変わってしまったが、近隣の自然環境・文化・歴史を受け継ぎ、広めていってほしいと思います。
総合評価	A	

委員⑧		佐倉学専門講座「臼井八景と北印旛沼の句碑を巡る」 臼井地区を代表する印旛沼をテーマとして周辺の文化的側面と自然等にも関心を持ってもらう事業を展開している。 歴史やゆかりの人物を学べる価値の高い教養講座であり今後も期待します。
総合評価	A	

委員⑨		臼井八景、北印旛沼の句碑を巡るという内容は、魅力的であり、座学では得られない学びがある事業だと思う。 安全を配慮して人数を絞ったとの事で、こういう対策をきちんとしてくださることも評価したい。 参加者の意向を汲んでおり、今後も、同様の事業に参加したい方がいらっしやるのではないかと考える。
総合評価	A	

委員⑩		臼井地区は印旛沼との関連が深く、「臼井八景と北印旛沼の句碑を巡る」は事業として適宜な佐倉学講座であると思います。 臼井地区は新住民が多く、臼井地区の歴史を良く知らない人が大半だと思いますので、佐倉学講座で学べる機会を提供することは非常に大切です。
総合評価	A	

委員⑪		非常に密度の濃い力作だったと思います。これを20分で話すのにはかなり苦勞なさつたことと推察いたします。 しかし最後まで音声は乱れず完遂したことに敬意を払います。 1つ注文をつけますが、文字の画面はもう一つ工夫してプレゼンテーションして頂ければありがたいです。
総合評価	A	

委員⑫		(佐倉学専門講座「印旛沼」) 範囲が広くバスルート等のコース設定に工夫の跡があるがバス移動の制約は今後の課題である。
総合評価	B	

委員⑬		バス利用の研修事業では希望者が全員参加出来るのが理想だが、研修の場所、内容、道路状況など諸般の事情から制約の出てくることがある。出来る範囲では最大限道を開かれるよう望みたい。
総合評価	A	

委員⑭		佐倉学専門講座「印旛沼」に関連する 佐倉の自然、歴史、文化、ゆかりの人物について学び 沼の 文学的な側面について 知ることが出来ましたが沼の現状を理解する為に バス見学会を実施して欲しい。 印旛沼浄化施設、内水面水産センター、柏井浄水場、利根川取水場、鹿島橋地下水取水場等 佐倉市の水道水についての関心を高めてもらう。
総合評価	B	

委員⑮		よく練られた、誰でも参加しやすい企画(行程)だと思います。資料も丁寧に作られており、講師・担当者の熱意が伝わります。希望者が多いようですが(予算の関係もあると思いますが)回数を増やすなどして対応してはいかがでしょうか。 課題とすれば、①雨天時の徒歩行程をどうするか、②参加者同士の交流が深まるような時間の確保 ③講師をされる方の拡充 が望まれます。
総合評価	A	